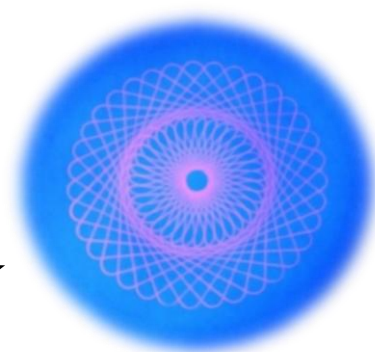


体験！発明クラブ

☆^{きかがくもよう}幾何学模様^{けいこう}の蛍光うちわを ブラックライトで光らせよう！☆



八戸市少年少女発明クラブ 指導員 風穴 彰洋

★どんな体験なの？

☆蛍光うちわの作り方を発明クラブ員が説明します☆

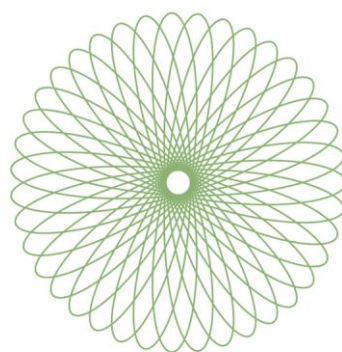
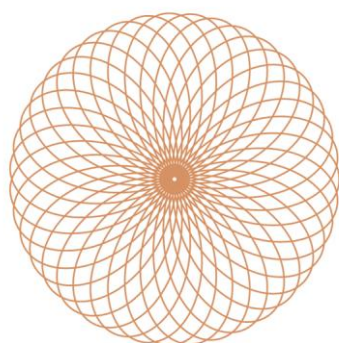
マーカーなどに使う蛍光ペンが鮮やかに光って見えるのはなぜでしょう。

それはインクに含まれる「蛍光物質」が目に見えない紫外線を吸収し、それを目に見える明るい光に変換して放っているからです。

さらに暗い部屋でブラックライトを当てると、一瞬にして目の前に鮮やかな模様が浮かび上がります。ブラックライトから出ている「紫外線」は人間の目には見えないけれど、強いエネルギーを持っています。

スマートフォンを利用した簡易ブラックライトの作り方も紹介します。

曲線による幾何学模様を描くための定規（スピログラフ（Spirograph））を使うと様々なパターンの幾何学模様を簡単に描くことができます。「高校数学」を使った美しい模様のうちわを作りましょう。



★気を付けること

ブラックライトを直接のぞき込まないでください。（暗く見えますが、強いエネルギーを持っています。）

★参考文献

「アートで魅せる数学の世界」岡本 健太郎（技術評論社）

問い合わせ： 八戸市児童科学館内 八戸市少年少女発明クラブ